

日本共産党  
流山北部後援会

# ニュースあすなる

2023年5月  
第291号  
発行責任者  
菊池 伍郎  
TEL/FAX  
7154-0526  
(部内資料)

## 憲法次々異常国会!

# 暴走する岸田政権NO

**軍拡財源確保法案**  
43兆円を捻出のため「防衛力強化資金」の創設。地域医療やコロナ対策の積立金・東日本大震災の復興特別所得税まであてる。社会保障費削減や大増税につながる。  
**軍事産業支援法案**  
軍需産業強化や武器輸出「官民一体で推進」。国が軍事企業を支援して殺傷性のある武器輸出をねらう。  
**原発推進等5法案**  
原発運転期間を60年超えて運転可能など。  
**マイナンバー法等改定案**  
任意のマイナンバーカードを保険証を廃止して強要。申請困難な病気の人が保険から排除される危険が。国民皆保険の危機。  
**入管法改悪案**  
非人道的な入管・難民行政で人権侵害が一層深刻化。

## 憲法記念日 新市議団と市民が「憲法守れ」と街頭宣伝



5月3日午後1時、流山おおたかの森駅自由通路。選挙後4人の新市議員(高橋議員は都合で不参加)として初めて「憲法守れ」の街頭宣伝が行われました。  
76年目の今年の憲法記念日は、岸田政権が平和憲法を掲げ捨てて戦争国家作りが急速に進められる中で迎えました。小田桐たかし議員(左)



は「大軍拡・大増税・敵基地攻撃」を、いぬいえり議員(中央)は「戦争

## 再稼働せぬ原発から撤退を!!

(S・H)

## 4人の市議団で流山市政チエック!

4月23日の市議会議員選挙では「ニュースあすなる」読者や多くの皆さんのご支持で植田和子候補、4期目の当選を果たすことができました。ご支援、ご協力ありがとうございました。  
今回の選挙は、コロナ禍や物価高騰で大変な暮らしを強いられている国民を後目に岸田政権は大

反対は自身の原点」、植田和子議員(上と下右)は「議会を取り上げたジエーター平等」を含めそれぞれが訴えました。  
また、新日本婦人の会、年金者組合、病院の医師からも訴えがありました。  
休日で買い物の方が多く中、チラシを受け取りじっと訴えに聞き入る人もいました。また、選挙中に植田議員と知り合った若い人が手を振ると植田議員が駆け寄って交流する場面もありました。

軍拡を進めようとしている最中の選挙でした。これから国会では、43兆円の税金をつぎ込む「軍拡財源法案」や「軍事産業支援法案」等々の法案を自公・維新・国民民主の多数で可決成立させようとしています。これを許せば地方自治体に何をもちらすか、医療、

福祉、教育等の切り下げで市の財政が圧迫されること危険されます。「新たな戦前にさせぬ」4人の市議でチエック機能を発揮してもらいましょう。平和と市民の暮らしを守るため、皆さん、ともに頑張りましょう。  
北部後援会会長・菊池伍郎



こんにちは 植田和子です  
4月27日 みなさん、こんにちはは植田和子です。4期目挑戦の市議選が終わりました。ここまで植田和子を支えてくださったみなさん、本当にありがとうございます。本当にありがとうございます。無事に北部地域の日本共産党の議席を守ることができました。そして、バトナタッチも含めて見事4人全員当選することができました。  
今回、2100人の市民の方からご支持をいただきました。『何とかしなくては』という気持ちから「植田和子」と書いてくださったと思います。その期待に応えらるるよ

昨日、当選証書付与式も終わり、新体制の流山市議会も動き出しました。井崎市長も挨拶にこられたので「足の確保、お願いしますよ。」と声をかけたら「喫緊の課題です。この問題は一緒に取り組めると思っています。一緒にやりましょう。」と聞かれました。  
課題山積の流山市、引き続き、市政のチエックも頑張ります。

「理解促進法」に「おおらかな」と「寛容」を装うが、要別のな言動も「まあ、まあ、まあ」と済ませようというのだ。あまいと寛容とは違う。人種差別やパワハラ、セクハラなど日本社会の人権意識の低さが諸外国からも問題にされている。外国人技能実習制度も、労働力不足を補うため外国人を人権無視した環境や労働条件で恩着せがましく働かせている。許されざることをあまいに見過すことは寛容ではない。日本文化の優しさ、寛容はこんな形ですり替えられてはならない。

国会では諸外国に知られては恥ずかしいような法律が通されようとしている。その一つがLGBT法だ。性的指向や性自認の違いについて先進国並みに差別をなくしようと「差別禁止」を求めた運動で、ようやくまとまりかけたと思ったら、自民党の保守派から横槍▼「差別を禁止するようない言動や教育ということにはならないように、もう少しおおらかな形だ」  
「理解促進法」に「おおらかな」と「寛容」を装うが、要別のな言動も「まあ、まあ、まあ」と済ませようというのだ。あまいと寛容とは違う。人種差別やパワハラ、セクハラなど日本社会の人権意識の低さが諸外国からも問題にされている。外国人技能実習制度も、労働力不足を補うため外国人を人権無視した環境や労働条件で恩着せがましく働かせている。許されざることをあまいに見過すことは寛容ではない。日本文化の優しさ、寛容はこんな形ですり替えられてはならない。

# 「台湾有事」は米中の戦い 日本有事ではない!

## 九条の会・流山「流山憲法集会」

「九条の会・流山」は5月13日、生涯学習センターで流山憲法集会を開き200人が雨の中を集まりました。



お話し 布施祐仁

講演は布施祐仁さん。前日まで奄美大島で取材していたジャーナリスト。布施さんは「岸田内閣がアメリカ言いなりに『台湾有事』として戦争準備を進めているが、こ



**「敵基地攻撃に賛成」が39%「リッキー」**

(朝日・東大谷口研究室合同調査 5月7日付朝日新聞朝刊より。調査実施は今年2~4月)

他国からの攻撃が予想される場合、敵基地攻撃に

- 賛成 39%
- どちらともいえない 38%
- 反対 23%

という結果だそうです。敵基地攻撃とは軍事基地に限らず、相手国の中枢までも破壊することだ

とされています。そんなことをしたら、全面戦争になるだけです。全面戦争に賛成する人が39%もいるということですか。ビックリです。ウクライナの戦争をみてわかるように、いったん戦争が始まったら、終結させることは難しくなります。被害も甚大になります。「他国から攻撃が予想」されたら、戦争はやめよう」と話し合うことが一番

大切なことではないでしょうか。それ以前に攻撃されるような事態にならないための外交を普段から重ねることはできないでしょうか。そのために政府があるのです。国会議員がいるのです。アンケートの質問の仕方にも問題があるように思います。ただし、「どちらともいえない」、「反対」が合わせて、61%なのは救いだと思います。この人たちは少なくとも、積極的な敵基地攻撃賛成派ではないからです。(西深井 在住)

これは日本防衛ではなく「日本の有事」ではありません。冷戦後も続くアメリカの覇権を守るための中国封じ込め戦略の戦いです。

米中が戦えば沖縄や横田などの米軍基地はミサイル攻撃される。そこで基地を分散して南西諸島に配置し一気に壊滅するのを避けようとしている。いまや米軍は一国では戦えないので同盟国を参戦させようとして日本にも戦争法を作らせ、離島に基地を置くよう要求している。在日米軍は日本

を守るためではないことは米国内では周知の事実。米軍内でももう他国のために海外派兵するのは止めようという声も広がっています。」と。12日のニュースとして米大統領選に出馬している民主党のロバート・ケネディ Jrの発言「米国の外交政策は破壊している。国外にある800の米軍基地を閉鎖し、直ちに米軍を帰還させて、米国を模範的な民主主義国家にすべきだ」が紹介されると、驚きとともに大きな拍手が沸きました。 石林

選挙のご協力をお願いした。みどりの課でも公園の状況など調査して、自治会とも話して近隣住民からの承諾も得られ、ベンチが設置される事になりました。

5月10日に、植田さんから、「みどりの課の課長補佐とお話する機会がありました。14号公園にベンチを設置することに決まったそうです。入札して、業者と契約してか

を聞いているうちに、そんな心配は無用と分かりました。菱山さんの書いた本を読んでみて、いっそうその思いを強くしました。ぶれずにおかしいと思うことに反対し、それを聞いて

早速教えていただいた方にご連絡すると「ありがとうございます。さっそく皆さんにお話ししておきます」と喜びの声が聞けました。 Y・K

大切なことではないでしょうか。それ以前に攻撃されるような事態にならないための外交を普段から重ねることはできないでしょうか。そのために政府があるのです。国会議員がいるのです。アンケートの質問の仕方にも問題があるように思います。ただし、「どちらともいえない」、「反対」が合わせて、61%なのは救いだと思います。この人たちは少なくとも、積極的な敵基地攻撃賛成派ではないからです。(西深井 在住)

市の憲法集会に参加しました。講師は34歳の菱山南帆子さんです。新聞でよく見る方なので行ってみました。

集団的自衛権の行使容認や安保法制に強く反対してきた市民運動家です。今回の統一地方選挙でも、地元八王子市議会選挙で、統一協会を問題にしたピラの配布や街頭宣伝をするなど、精力的に取り組み、立憲野党全員当選の力になりました。

私の一番の関心事は、菱山さんが、この先も活動を続けていけるかどうかという事です。

第66回 柏地区ミーテ

5月1日、柏公園で「第66回柏地区ミーテ」が開かれ、約400名が集まりました。

統一地方選挙直後のミーテとなり、みごと当選を勝ち取った柏の加藤英雄、雄嶽議と流山の小田桐たかし、植田和子・高橋あきら・いぬいえり市議が、あらたな決意を述べました。

また、柏・流山・我孫子・野田の土建や年金者を

あすなる川柳

新型コロナはいつまで  
5類になって警戒心が緩くなるが医療機関も高齢者も心配

孫たちが 覚える分だけ ジジ忘れ

孫はどんどん吸収し、成長。ジジババはどんどん忘れてく

●ヘルメット 戦時を思い 身震いし 自転車の努力義務。防空予きん思いだし、違和感も。

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円  
日曜版●月 930円

あなたも読んでみませんか。知りたい情報満載です。